

# 開館 110 周年記念事業 「リレートーク」 ①

## 『画家と絵画と価値の話～“変わる”きっかけ～』

■日時 令和 4 年 5 月 14 日（土）13 時 30 分から 15 時

■場所 中央図書館 1 階情報発信コーナー

■豊橋市図書館「知の伝道師」 No.6. 山田 幹

■内容 美術品の文化的・資産的な価値についての話から、19～20 世紀の画家とその作品、特徴について紹介した。

開館 110 周年記念事業の一環として開催した、1 年を通して多彩な知識や情報を持つ個人・団体によるリレートークの第 1 回目。かつてオークション業界に籍を置いていた山田さんに、西洋絵画に関する展示の監修とともに講座をお願いしました。



美術を楽しんでほしい。偏見でモノを見る、ということに終わってほしくない

と意気込む山田さん。美術業界の豊富な知識は一級品。業界の事情だけでなく、個々の画家の人生とその中で起きた出来事や人間関係も織り交ぜながら、トークを展開していただきました。

講座前半では、美術品に対して感想だけではもったいないことや何が書いてあって、なぜ描かれたかなどを知っていると視点が変わり、美術を楽しむことができることを、山田さんが得意とするシャガールを題材にお話しました。

後半は、「猛スピードで学ぶ絵画の歴史」というテーマで、19～20 世紀の有名な西洋画家について紹介しました。特に、モネやルノワールの文化的・資産的価値の解説では、参加者が興味深そうに聴き入っていたのが印象的でした。

参加者からは、

文化的な価値と資産的な価値の見方の違いがわかって面白かった



今まで、“この人は嫌いだな”で終わっていたのを、じっくり見ることにします。



という感想が寄せられました。

実際の浮世絵を参加者が見て、触って、査定する、という体験の時間もあり、美術に対して興味を持てるイベントになったと思います。